

源からできているので、地球に住み続けるためにも、限りある資源を大切にしないとね。

それに最近「地球温暖化」という言葉を聞くだろう。地球の規模で異常気象が続き、20世紀の100年間に地球の平均気温は約0.6度上昇しているそうだよ。その原因の一つが、温室効果ガスと呼ばれる二酸化炭素の排出量が増えていることなんだ。

なぜ増えているの？

二酸化炭素は石油やガソリンなどを燃やしたときに発生するもので、工場での生産や火力発電所での発電のほか、車の走行や家庭でのエネルギー消費など、様々な活動が発生源になっているんだけど、たくさんのごみが出ることも原因の一つなんだよ。

どうして？

まずはごみの焼却もそうだし、将来ごみとなる製品は工場で製造され、車で運ばれるから、それでも二酸化炭素が排出される。それに、二酸化炭素を酸素に変える樹木は、紙の原料だから、紙を使えば森林

が伐採されてしまうんだ。

ごみが環境に与える影響についていろいろあるんだね。

財政負担から考えるごみ減量

ごみがたくさん出ると困ることはまだあるんだよ。

ごみ処理の費用のことね。

そう。ごみを処分するには、クリスタルプラザやクリーンプラントといった処理施設のほか、処理費用や収集費用が必要だね。ごみの量が増えれば増えるほど、処理費用がかかるし、施設を修理したり、新しくしたりするのにたくさんのお金がかかるんだ。



クリスタルプラザ(八幡中山町)でのプラスチック製容器包装の分別作業の様子

施設見学の時も、集められたたくさんのごみを分別されていて、大変そうだったよ。

うん。その他にも、クリーンプラントがいっぱいになれば、次の埋立処分場を莫大な費用をかけて建設しなければならんだよ。



クリーンプラント(大依町)の埋立処分場 1日約20tが埋め立てられている

実際、ごみ処理にどれぐらいかかっているんだろう？

平成17年度に長浜市が負担した費用(表1)は、約7億8千8百万円で、1人当たりで年間約9千3百円、4人家族に換算すると約3万7千円かかっているんだ。その他にもいろいろな経費がいるから、たくさんのお金がかかっているんだよ。

ごみ処理費の長浜市負担分(平成17年度)

可燃ごみ処理費	1億3,198万3千円
可燃・不燃ごみ収集費	1億4,657万円
分別(資源・粗大)ごみ収集費	1億9,605万3千円
クリーンプラント経費	1億1,195万3千円
クリスタルプラザ建設費	1億9,539万3千円
クリーンプラント建設費	687万5千円
合計額	7億8,882万7千円

※施設建設費は平成17年度のみの負担分

その費用は税金でまかなわれているんだし、結局は私たちが負担しているのね。

ごみを捨てるときに、「お金がかかっているんだ」と考えると、もったいないと思うかもしれないね。

ごみ袋の有料化が、その考えなんだけど、1枚あたり何円と言われると、ごみを捨てるのにも、処理するのにもお金がかかっていることを実感できるのかもしれないね。

ごみ減量に取り組もう

では、実際、どうしたらごみを減らせるんだろう。

そうよね。すでに分別や減量に取り組んでいるから、どれほど減らせるのかしら。

でも、改めて生活を振り返ってごらん。私たちの生活はいかにたくさん「もの」に囲まれているかわかるよね。その「もの」は捨てればほとんどがごみになるものばかりだよ。

確かに食器や服、雑誌にジャンプ容器、お菓子の袋など、捨てればみんなごみになってしまうね。ということとは、これらの「もの」がごみにならないようにすればいいのかな。

ごみ減量の考え方に「3R」と言う言葉を聞くわね。「減量」「再使用」「再資源化」の3つの視点で消費生活を考えるものらしいけど、まずはこの視点で生活を考え直してみようか。

そうだね。その考え方を大きく分けると次の3つじゃないかな。

まず1つ目は、「 unnecessaryなものを買わない(家に持ち込まない)こと。買い物ときに、本当に必要なか、買いすぎているのかを考えることだよ。

なるほど。その他にも過剰な包装やレジ袋を断るのも、 unnecessaryものを持ち込まないことにつながるわよね。

2つ目は、「ごみにする前にまだ使えないかを考えて工夫することだよ。同じものを何回も使ったり、別のものに再利用したりすればごみも減るよね。

それと、ほしい人にゆずったり、壊れたものを修理したりするのも方法の一つだね。

そう。そして、3つ目は「捨てるときはしっかりと分別すること。

本当は、将来ごみになる unnecessaryものを買わなくて、 unnecessaryものも再利用して使うのが一番いいんだけど、どうしてもごみにするときは、資源として再利用できるように、しっかりと分別することが大事だね。

そうだね。大切な資源だから、大事に使ってしっかりとリサイクルしたいね。

でも、現実には面倒だったり、新しい物が欲しくなったりして、うまくいかないのよね。

3R -ごみ減量の考え方-

リデュース(reduce=減量)

生活の中でごみを作らない工夫をしたり、 unnecessaryものを断ったりすること
例：買い物は必要なものを必要な分だけ買う
買い物袋を持参してレジ袋を断る
 unnecessaryの過剰包装や割りばしを断る
リースやレンタルを活用する
自分専用の水筒やはしを使う など

リユース(reuse=再使用)

使い終わったものをもう一度使ったり、壊れたものを修理して使うこと
例：詰め替えてできる(使い捨てでない)製品を選ぶ
壊れたおもちゃを修理できないか考える
フリーマーケットや不用品交換を活用する
古着を譲る など

リサイクル(recycle=再資源化)

使い終わったものを原料(資源)として、別の形で利用すること
例：ごみの分別をしっかりとる など

買い物には、お気に入りの買い物袋を持っていくことで、ごみになるレジ袋を減らせ、買い物がより楽しくなるかもしれない。



着られなくなった子ども服を必要な人にゆずることで、有効に利用でき、その服も生き返ります。